



問題発見力

海外研修

学部横断型特別プログラム

Global Citizenship Program

語学力

問題解決力

進路

グローバル・シティズンシップ・プログラム
2024年度入学者用案内

プログラム
受講料無料

海外研修
奨学金給付



GCPの実績

世界に羽ばたくGCP生

徹底的にアカデミック英語の訓練を積める場がGCPです。在学中の交換留学、卒業後の海外大学院出願に必要なTOEFL iBT®やIELTSスコアを達成することが可能なカリキュラムになっています。プログラム修了生のTOEIC®L&Rスコアの平均点は900点に達しています。また、試験のスコアアップだけでなく、どの学問領域でも役立つ、高度で実践的な英語力を磨ける点もGCP英語プログラムの大きな特徴です。留学先で必要とされる英語の読解力、ディスカッション力、英語でリサーチペーパーを作成し発表する力を日本で留学前に身につけるため、留学先の大学で語学学校に通う必要がなく、到着後すぐに現地の学生と一緒に専門科目を学ぶことが可能です。

また、GCPで培った語学力、リサーチスキル、海外フィールドワークの経験、国際貢献への熱意などを評価され、多くのGCP生が給付型奨学金を獲得しています。約8割のGCP生が長期留学を経験し、世界各地で行われる国際機関のユースフォーラムやハーバード大学の学生会議などにも積極的に参加しています。

留学経験の有無に関わらず、GCP生は就職先で語学力を高く評価され、業務で日常的に英語を使用する部署に配属されたり、勤務先の海外派遣制度等を利用して留学したりなど国際的に活躍しています。また、多くのGCP生が国内外の大学院に進学し、英語で執筆した論文を国際学会で発表するなど、英語をツールとして使いこなしています。

GCP生の主な留学先



ヨーロッパ
イギリス
フランス
ドイツ
スペイン
ロシア
オーストラリア
デンマーク
チェコ
ブルガリア
リトアニア
ポーランド
ベルギー
トルコ
ノルウェー
アイルランド



北米・中南米
アメリカ
カナダ
ブラジル
ペルー
ボリビア



アジア・オセアニア
中国、香港、マカオ、台湾
韓国
フィリピン
タイ
シンガポール
インドネシア
マレーシア
インド
ブルネイ
ベトナム
ネパール
オーストラリア



アフリカ
南アフリカ
ケニア
ザンビア



夢を形に！社会で光る卒業生

GCPの成果は、卒業生の進路の多様性とレベルの高さにも表れています。多くの卒業生が海外・国内の難関大学院進学、業界トップレベルの企業就職、外務省専門職や国家公務員総合職などの難関公務員試験、司法試験、公認会計士試験合格等を果たし、GCPで得た力を活かしてそれぞれの進路先で活躍しています。

卒業後、アメリカの大学院で医学博士号を取得し、ハーバード大学のメディカルスクールで勤務後、現在デューク大学医学部で博士研究員として働く卒業生は、GCPで身につけた英語力、プレゼンテーションスキル、研究者としての心構えが大学院で高く評価され、現在の進路を勝ち取れたとコメントしていました。

またGCPでは、年2回の総会のほか、キャリアワークショップや懇談会など、卒業生との交流の場を豊富に用意し、教職員と卒業生が一体となって、皆さんの夢を形にしていけるサポートをしています。

GCP生の主な就職先・進学先

一般企業

日本IBM、三井物産、アクセンチュア、ベトナム三菱商事、アマゾンジャパン、ゴールドマン・サックス証券、三菱電機、パナソニック、ソニー、日立製作所、ヤマハ発動機、味の素、ファイザー、アストラゼネカ、NTTデータ、ユニ・チャーム、デンソー、ジョンソン・エンド・ジョンソン、PwCあらた有限責任監査法人、デロイトトーマツ、出光興産、ソフトバンク、関電工、ウォルト・ディズニー・ジャパン、日本ビューレット・パッカード、ファーストリテイリング、ポケモン、リクルート、アサヒ飲料、KPMGコンサルティング、日本マイクロソフト、P&Gジャパン 等

海外大学院

ジョンズ・ホプキンス大学、タフツ大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、コロンビア大学、シドニー大学、LSE、パリ第1大学、エセックス大学、サセックス大学、マギル大学、オスロ大学、コペンハーゲン大学、南カリフォルニア大学 等

国内大学院

東京大学、京都大学、一橋大学、東京工業大学、大阪大学、神戸大学、沖縄科学技術大学院大学、北海道大学、広島大学、同志社大学 等

難関試験・公務員・その他

公務員（外務省、厚生労働省、法務省、農林水産省、防衛省、総務省、世田谷区、横浜市、大阪府 等）
教員（東京都、熊本県、鳥取県、海外日本人学校 等）

研究職（ハーバード大学、デューク大学、UCLA、サンノゼ州立大学、東京大学、広島大学、岡山大学、滋賀大学 等）

弁護士
公認会計士

国際機関・国際協力・その他
国際通貨基金 (IMF)、
国際協力機構 (JICA)、
JICA総方貞子平和開発研究所、
日本赤十字社、国連大学、
NPO法人カタリバ 等

在学生・卒業生メッセージ



学ぶことを楽しむ!

かみぐり ひろあき

上栗 弘明

経営学部在学 東京都出身 創価高等学校卒業

在学生

「学びは与えられるものではない。自分から果敢に掴み取っていくものである。」GCPでの諸活動を通して、このことを強く実感しました。昨今、何を学ぶにしても、それを学ぶこと自体が目的ではなく、メリットやコスパの計算が前提にあるという傾向が見られます。しかし、そのような態度で学問に臨んでも、大きい成果を上げることはできません。私は、「問い」を持ち続ける姿勢が大切だと考えます。どんな些細なことにも敏感にアンテナを張り、毎日がワクワクしてたまらない子どものように「なぜ」「どうして」と考えてみましょう。自分の好奇心の赴くままに、自由に学ぶことができる場所が創価大学です。とりわけ、そのような探究を志す学生にとって、GCPはうってつけの環境だと確信しています。GCPは、世界で通用する語学力や思考力を身につける過程で、仲間と切磋琢磨ができる素晴らしい場所です。苦楽を共にした仲間は、私の一生涯の財産です。皆さんと学べることを楽しみにしています。



3か国語を習得して日中友好のバトンをつなぐ!

おおにし

大西 わかば

文学部在学 大阪府出身 関西創価高等学校卒業

在学生

私は創立者の平和思想を世界中に広めていきたいという決意でGCPに入りました。GCPでは、授業やメンバーとのディスカッションを通し、世界中のさまざまな社会問題に対して論理的に考える力を磨くことができました。また、海外研修では、現地でのフィールドワークを通して、グローバル課題を肌で感じることができました。そしてオールイングリッシュの授業や英語のスピーキングセッションに積極的に参加する中で、スピーキング力を飛躍的に伸ばすことができました。その結果、「THEアジア大学ランキング2022」1位の清華大学(中国)への交換留学を勝ち取ることができました。英語だけでなく中国語も習得し、日中友好のバトンを受け継いでいく決意です。私にとってGCPは、自身を最も大きく成長させてくれた宝の場所であると実感しています。最高の環境で徹底的に勉強したい方は是非GCPに挑戦してみてください。



国際色豊かな職場で英語を駆使して活躍!

すぎやま さくら

杉山 咲良

経済学部(2020年卒業) 大阪府出身 関西創価高等学校卒業
P&Gジャパン合同会社

卒業生

現在、P&Gジャパン合同会社の人事部で、人・組織の成長、ひいては、ビジネス成長を支えるための職場環境、仕組みづくりをサポートしています。社内で働く同僚は国際色が豊かで、多くのコミュニケーションは英語で行われています。大学入学当時、英語が話せなかった私が、英語で業務に取り組み、多国籍の同僚と議論できているのは、GCPで培った英語力の土台があってこそだと実感しています。

P&Gの人事部では、どのようにより良い組織をつかっていくのかという正解のない問いに向き合う場面が多々あります。その際にGCPで鍛えた「課題発見から解決策の提示を行うまでの一連の思考プロセス」と「自己の考えを他者に伝える力」が活きていると感じます。また、一見達成が困難に思える目標に対して、とにかく取り組んでみるという前向きな姿勢は、個人の成長に重きを置く現在の職場でも重要視されていると感じます。高い目標を掲げて挑戦する中で、想像もしていなかった自分に成長することができるというのも、GCPを通して得られた大きな経験です。今後も人と組織の成長に貢献できる自分でありたいように、学び続けていきたいと思っています。自分の可能性を最大限に発揮したい方は、是非GCPに挑戦してみてください。

GCPの学び

ビジネスや研究の場で活躍できるレベルの英語力を培う！

GCPコーディネーター
かんざか いずみ
勘坂 泉



GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と、国内外のグローバル企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。単に英語試験のスコアを伸ばすのではなく、国内外の社会問題や地球規模的な問題を英語で、探究的に学習し、将来どの領域に進んでも役に立つ英語力+思考力を磨きます。

徹底した4技能の特訓に加え、問題発見+解決+発信で総合的に英語を学ぶため、英語圏で専門科目を学べるレベルに、日本にいながら到達することが可能です。国際経験豊かな教授陣によるカウンセリングと効果的な授業外学習指導により、さまざまなニーズに対応しています。英語を日本で仕上げ、非英語圏へ留学し、多言語習得を目指すことも可能です。



グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く！

GCPコーディネーター
あさが ひろのぶ
朝賀 広伸



プログラムゼミでは、地球的問題群の解決に貢献すべく、リーダーシップ、リサーチスキル、問題発見力、問題解決・提案力を養います。第1に、グローバルリーダーになるための自立的な学習習慣を身につけます。リーダーシップに関する知識およびビジョン、キャリアデザイン、コミュニケーションの基礎を体験的に学びます。第2に、グループワークを通してリサーチの基本的な手法を身につけます。問題発見・資料収集・データ分析の仕方、リサーチペーパーの書き方、プレゼンテーションの仕方、他者との協同を学びます。第3に、現実の社会・政策課題を対象として、修得したリサーチスキルを学際的かつ多角的な視点から発展的に応用します。具体的には、「気候変動関連政策分析のための科学的知見」として、CO₂排出量データに基づいた対策手法の考察および施策の優先順位付け、エネルギーの基礎知識と各種発電メカニズムの利点・欠点およびエネルギーと温暖化の関連を研究します。また、「ローカル(地方自治体)レベルの環境政策」にも目を向け、再生可能エネルギーの実践例を研究します。さらに、「社会課題に対する数理・統計的アプローチ」の仕方を身につけます。人工知能(AI)、機械学習、ディープラーニングの基礎、社会課題解決へのAI適用などの分析手法を、統計ソフトを用いて修得します。第4に、集大成として、公開型の成果報告会にてプレゼンテーションを行います。地球環境・資源エネルギー問題、貧困・食糧問題、民族紛争やテロなどの地球的諸問題に対する解決策を提案することに挑戦します。

プログラムゼミでは、上記の多段階ステップにより、アカデミックスキルを応用し、社会・政策課題の探求を深化させ、グローバル社会で役立つ実践的な問題解決力や提案力を磨く授業を展開しています。

1年春学期 プログラムゼミⅠ Career&Leadership

グローバルリーダーとしての資質を磨く

地球市民として目指すキャリアビジョンを形成し、リーダーシップについて考察

1年秋学期 プログラムゼミⅡ Basic Research

開発途上国が直面している社会課題を探究する

海外フィールドワークに向け、研究テーマを設定し文献調査、研究発表を実施

2年春学期 プログラムゼミⅢ Policy Studies

社会課題の解決に取り組むための素養を培う

気候変動、環境問題、廃棄物処理、エネルギー問題等の社会課題を総合的に把握し、分析

2年秋学期 プログラムゼミⅣ Global Issues

問題解決力、提案力を養成する

自ら社会課題に関する問いを立て、その解決策を社会に対して提案



ザンビアで栄養改善プロジェクトに携わったGCP生

GCP海外研修 返還不要の奨学金支給により、全員が海外研修に参加！

GCPでは渡航費・研修費を全額支給し、プログラムゼミの授業と連動した約2週間の海外研修を実施します。開発途上国の問題解決をテーマとし、1年次後期のGCPの授業で入念に重ねた文献調査と議論をもとに、海外フィールドワークでは、現地大学の教授陣の指導のもと、データ分析、ディスカッション、プレゼンテーションを通して実践的なスキルを磨きます。2022年度はフィリピンのカガヤン・デ・オロ市の省庁、企業、医療機関、教育機関、カトリック教会などを視察しました。



なかじま だいき
中嶋 大輝

教育学部在学
大阪府出身
関西創価高等学校卒業

私のグループは小学校の算数教育についてリサーチを行い、現地の教育省や大学、小学校を訪問してインタビューを行いました。GCPで鍛えた英語力のおかげで、通訳を介さずに情報を収集でき、現地の方々の教育に対する情熱を直接感じることができました。また、多様な価値観に触れ、自身の視野を大きく広げることができました。研修を通して得た貴重な経験をこれからの大学生活に活かし、自分自身にしか生み出せない価値を創造できる世界市民へと成長していきます。



留学・国際会議



なかざわ だいき
中沢 大樹

教育学部在学
埼玉県出身
創価高等学校卒業
中南米対日理解促進交流プログラムに参加

日本代表10名の一員として本年2月にドミニカ共和国を訪問し、現地の教育問題に関して深い学びを得ました。現地政府関係機関等への表敬訪問、日本関連団体との交流、ODAサイトやNGO団体等への訪問など充実した11日間でした。省庁の方々やホストファミリーとの交流では、これまでGCPで培った実践的な英語力を活かし、環境意識の改善や学校教育カリキュラムなどについて広い視点から深く議論できました。

滞在中、平日の昼間に路上で小銭稼ぎをする子どもたちの姿を目にし、衝撃を受けました。近年、急発展するドミニカ共和国で問題となっている経済格差が、結果、子どもの教育機会を奪っていることを実感しました。世界の教育問題解決への包括的なアプローチについて学ぶため、私は本年9月よりデンマークに留学する予定です。残りの大学生活では、どんな問題もまず「現地へ足を運び、自分の目で見ること」を大切に、問題解決に向けた学びと思索を深めていきます。



在ドミニカ共和国日本国大使を表敬訪問



にご あけみ
仁後 明美

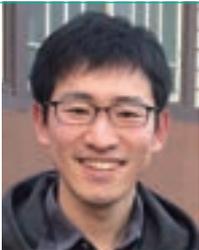
経済学部在学
岡山県出身
就実高等学校卒業
アメリカ ケネソー州立大学(KSU) 留学

留学先では専門の経済学に加えて、人種・民族やジェンダーに関する授業も履修していました。留学当初は大量の課題や、スピード感のある授業についていけず泣いていましたが、創大生活、特にGCPで培ってきた忍耐力や学ぶ力、創大の激励に支えられながら、日々試行錯誤して毎週の授業や課題を乗り越えることができました。2022年秋のディーンズリスト(成績優秀者リスト)に名前が載ったことや、ある教科の学期末課題について、私のプロジェクトをサンプルとして使いたいとお褒めの言葉を教授から頂いたことが大きな自信となりました。また、学外では、若者のエンパワーメントを目的としたコミュニティ活動に参加し小中学生の家庭学習支援に携わっています。「学は人格と勝利と人々を幸福にするためにある」との創大の思想を体現できる人材に自らが成長し、人々に学ぶことの楽しさを伝え、他者の幸福に貢献することが目標です。



多国籍のクラスメイトと交流を深める

進路



しんきゅう あきら
新久 章

経済学部(2017年卒業) 広島県出身 広島県立祇園北高等学校卒業
神戸大学大学院経済学研究科修了 博士(経済学) 滋賀大学 専任講師

GCPで学んだことは、私が学術の道に進むための基礎になりました。例えば、私は統計学や計量経済学を研究していますが、論文を読んだり、論文を書いて海外の学術誌に投稿したり、研究発表をしたり、海外の研究者とやりとりをしたりする際に、英語が求められます。また、論文や研究発表における問題設定や構成を考えたり、文章や口頭によって説得的な説明をしたりする際に、論理的思考が必要になります。さらに、GCPではプレゼンテーションの機会が多くあります。その準備のために課題を見つけて、詳しく調べて議論しましたが、このような経験も論文作成や研究発表の準備にかなり役立っています。また、GCPで受けた数理の授業は、私が統計学や計量経済学に興味を持つきっかけの一つになりました。このように、GCPに入って良かったことはたくさんありましたが、一番良かったことは、人格的にも優れ、かつ向学心に燃える仲間と、一緒に勉強できたことです。周りの人たちが頑張っていて勉強している姿を見ると、自然とやる気になり、結果として自身も勉強を続けることができました。そして香港大学に留学していた際には、シドニー大学留学中のGCP生と共にみずほ学術振興財団主催「第56回懸賞論文」に挑戦し、学生の部で最優秀賞にあたる1等を受賞することができました。

GCPは私にとってかなり大変で、ついていっただけで精一杯でした。しかし、学部生のときに大変な思いをして勉強をした経験は、大学院での勉強や研究に大いに活かされたと思います。もしGCPに入っていなければ、恐らく学問に興味を持つことはなく、研究者になることもなかったと思います。



きむら かなこ
木村 華奈子

法学部(2019年卒業) 富山県出身 富山県立高岡高等学校卒業
一般財団法人自治体国際化協会シンガポール事務所(富山県庁からの派遣)

世界で支援を必要としている地域や人々に貢献できる人になりたいとの思いから、GCPの門戸をたたきました。GCPにおける学びでは、英語力だけでなく、日本国内や世界の課題に関する調査等を通じた論理的思考力の向上など、さまざまな力を養うことができました。GCPや法学部の授業、研修等を通して国際社会だけでなく日本社会における課題についても知る中で、日本国内とりわけ地元である富山県の課題解決に貢献したいと思うようになり、卒業後は地方公務員として富山県庁に就職しました。

入庁から2年後の2021年からは、自治体国際化協会という日本全国の自治体における国際化の推進および支援を行う共同組織に派遣され、1年間の東京本部での勤務を経て、現在はシンガポール事務所で勤務しています。業務においては、英語での情報収集やコミュニケーションが必要となる場面があるほか、派遣元である富山県のPRを英語で行うこともあり、GCPで培った総合的なスキルを活かすことができている。また、GCPでの学びを通して得ることのできた精神力は、卒業してから現在まで、さまざまな場面で活かしていることを実感しています。

現在の派遣が終了した後も地方公務員として富山県のさらなる国際化や国際交流・多文化共生等、多岐にわたる分野で貢献できる人材になれるよう、不断の努力をしております。



みたべ なおき
三田部 直樹

工学部(2017年卒業) 埼玉県出身 埼玉県立熊谷高等学校卒業
創価大学大学院工学研究科 修士(工学) 株式会社NTTデータ

私は、国内外の人々の生活を支えることができる技術者になりたいとの思いから、創価大学の工学部(現:理工学部)情報システム工学科に入学し、GCPに参加することを決意しました。GCPでは英語はもちろんですが、物事を論理的、多角的に考えることができる思考力や人前で堂々と意見を述べる表現力など、ビジネスやアカデミックな場で求められる、多くの力を養うことができました。

大学を卒業後は創価大学大学院の修士課程を修了し、NTTデータに入社しました。入社後数年間は国内事業部にて、ITサービスの開発業務に従事していましたが、現在は海外事業部に異動し、ヨーロッパ地方のビジネス拡大業務に従事しています。業務としては、ヨーロッパ現地の支社と直接やりとりをしながら、海外支社のITサービスの開発プロセスの改善や意思決定支援などを行っています。日々の業務のさまざまな場面で、GCPで培った力が活かしていることを実感します。また本年6月からヨーロッパへ赴任する予定です。GCPで培った力があつたからこそ、海外に飛び込むチャンスを掴むことができたと感じています。今後は海外赴任の中で現地の開発手法やグリーンビジネスについて学び、目標としていた国内外の人々の生活を支えることができる技術者になれるよう成長してまいります。

GCPの理念と目的、5大特徴



GCPディレクター
さ さ き さとし
佐々木 諭 看護学部長

看護学部教授 博士(医学) 創価大学法学部卒業 新潟大学大学院医歯学総合研究科修了
10年に亘りアフガニスタンやザンビアで国際協力機構(JICA)や医療系NGOの国際協力事業に従事

GCPは、創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)を育成することをプログラムの理念としています。具体的には、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心一スピリット(Spirit/精神性)を持ち、世界が直面する問題の要因を分析し、解決策を提示する能力スキル(Skill/技術・方法)を身につけ、決して自己の利益にとどまることなく、人々の幸福のために貢献する行動サービス(Service/奉仕・貢献)ができる地球市民の輩出を目指しています。

そのために本プログラムでは、以下の5つの取り組みを通して、世界を舞台に活躍したい皆さんをサポートします。グローバル企業、国際機関、世界トップレベルの大学院、国家公務員などを目指す強い志を持つ学生を全力で応援します。

① 学部に所属したまま参加できる学部横断型特別プログラム

GCPは6学部(経済・経営・法・文・教育・理工学部)の学生を対象に選抜を行います。それぞれの学部に所属したまま、互いに学びに取り組むことで、広い視野と多様性が育まれることを期待しています。

② 徹底した英語教育と奨学金給付(返還不要)による全員参加の海外研修

高いレベルの集中英語講座とあわせ、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、研修先の政治・経済・環境・教育に関する講義を英語で受け、現状と課題について理解を深めていきます。

③ 社会システムを読み解く力—数理能力をトレーニング

国際社会で活躍するためには、膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、スピーディーに分析する能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI・II」では、社会の現状と問題を把握し、解決方法の考察と意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。

④ 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で段階的に、リーダーシップ力、問題発見力、問題解決力を高めていきます。

⑤ 少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

教員1人あたり学生が10名以下の少人数体制を組んで、週に一度のチュートリアル授業や学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、きめ細かい個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。

入学から卒業まで

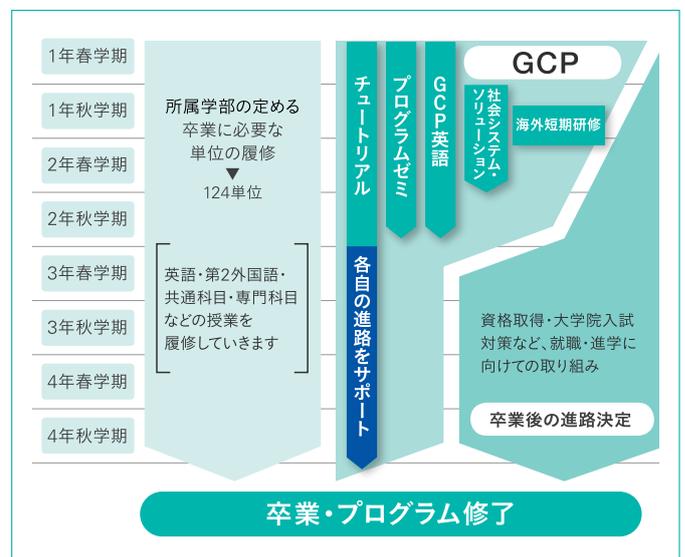
GCPでは、学生の所属する学部でそれぞれ定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修します。プログラム修了に必要な単位(32単位)をすべて修得すると、卒業時に所属学部の学士に加えて、GCP修了が認定されます。

※卒業要件(履修科目、単位数)は学部により異なります。

※所属学部の定める卒業要件では、所定の単位の修得のほか、通算GPA(全科目の評定平均)が2.0以上であることが必要です。

※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。

※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として認定することができます。



GCP選抜要項

変更の可能性がありますので、必ずGCPホームページの募集要項もご確認ください。

GCPの受講には、入試合格後に出願が必要です。また、GCPの選抜試験は入学前に行われます。入学後にエントリーすることはできません。

出願・募集について

- **対象学部**：経済・経営・法・文・教育・理工学部(国際教養学部、看護学部は別カリキュラムのため応募できません。)
- **対象入試**：PASCAL入試、公募推薦入試、指定校推薦入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試2・3科目方式
- **募集期間**：入試ごとに異なります。以下の「選抜の流れ」ならびに「GCP募集要項」をご確認ください。
- **募集人員**：30人(合格者が募集人員に満たない場合でも、追加募集は行いません。)
- **受講費用**：無料(英語学習の一環として、TOEFL®テスト等の外部試験を自己負担で受験する場合があります。)

※出願資格について不明な点がある場合は、事前にGCP事務室にお問い合わせください。

選抜の流れ

GCPでは出願者に対して選抜を実施します。選抜は以下の2段階で行います。

- ① **第1次選抜**：エントリーシート、入学試験の成績、入試出願時に提出された調査書に基づき、書類審査を行います。
入試合格者向けに開設される「入学支援システム」より、エントリーシート等の必要書類をオンラインで所定の期日までにご提出ください。提出締め切り日は入試ごとに異なります。募集要項でご自身の入試の締め切り日をご確認ください。エントリーシートは提出フォームの下書き段階で一時保存できますが、締め切り日までに必ずご提出ください。
第1次選抜の結果は、入学前に、「入学支援システム」で通知します。第1次選抜合格者には、第2次選抜のスケジュール等も併せて通知します。
- ② **第2次選抜**：3月下旬ごろに小論文試験・面接試験・英語試験を行います。さらに入学前後に全新入生に対して実施されるプレイスメントテスト(基礎学力判定テスト[数学])・TOEIC®L&Rの結果も含めた総合評価により選抜し、受講者を決定し、4月上旬ごろ合否を通知します。

GCP募集要項

<https://www.soka.ac.jp/gcp/admission/info/>



Q & A

① GCP生はどのような課外活動に取り組んでいますか？

GCP生はクラブ活動や学生自治会、大学行事の実行委員会等に参加することはできませんが、GCPで身につけた英語力や論理的思考力、問題解決力を活かし、学外の国際学生会議、外務省が主催する海外インターンシップ、内閣府主催の国際青年交流事業、国連協会主催ユースフォーラムなどに日本代表として参加しています。

学内においては、ASPIRE創価(国連アカデミックインパクトの学生団体)の中心メンバーとしてSDGs達成を推進するイベントや難民支援映画祭などを企画し運営しています。そのほか、国際寮での留学生のサポートスタッフ、グローバルな就職活動を支援するスタッフ、GCPで培った経験やスキルを活かせる課外活動に、積極的に取り組んでいます。

② 選抜試験に向けた準備について

小論文試験では、社会課題などのテーマとそれに関する資料が与えられ、所定の時間内に自分の考えを明確かつ論理的に述べるのが求められます。英語試験の中ではライティング試験が課されます。大学入試英語エッセイ問題、英検®1級ライティング問題、TOEFL®テストライティングセクションの出題形式を参考にしながら、英語パラグラフの構成を把握しておきましょう。面接試験ではGCPの志望動機、学修計画、これまでの経験と、ある1つの社会課題に関して意見が求められます。GCPの目指す人材像を把握し、自分の学びたい内容、キャリア計画をよく検討するとともに、国内外の諸問題について常に情報を収集し、周囲の人たちとの議論を通して、自分の意見を持つようにしましょう。

発行日：2023年7月1日

GCP事務室(総合学習支援オフィス学習支援課内)

ホームページ：<https://www.soka.ac.jp/gcp/> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス:sgcp@soka.ac.jp

お問い合わせ時間：月～金曜日 9:00～17:00 / 土曜日 9:00～12:00